

文化振興計画 事業評価シート

事業名		高の原カルチャーサロン 「奈良大学心理学・国文学・地理学講座」		担当課 施設名	(奈良市北部会館市民文化ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(10)-①、②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成17年度	実施回数	60回(年6回10年間)※奈良大学の事情により今年度から当ホール開催は休止	
日時	6月20,27日、7月4日、10月17,24,31日			会場	奈良市北部会館市民文化ホール 市民ホール	
目的	近隣の大学と連携して市民公開講座を開催し、市民に大学の最新の教養を学ぶ機会を提供し、地域文化の向上・振興を目指しました。					
内容	年2講座、前期(春季1講座×3回※1回90分)、後期(秋季1講座×3回)開催。講師は奈良大学教員。内容は主に心理学・地理学・国文学。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	21,000	支出	200
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	21,600	支出	200
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)			心理学(全3回):平均62件回収・回収率72.9% 国文学(全3回):平均76件回収・回収率67.9%			
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		5	定員200人のうち、心理学(全3回):①75人②89人③67人 国文学(全3回):①106人②120人③111人 平均94.6人出席・定員の47.3%		
	参加者満足度		9	アンケート結果:大変良かった・良かったの占める割合 心理学:①90%②88%③76%(平均84.6%) 国文学:①95%②94%③78%(平均89%)		
	市民参画・協働の成果はあったか		7	各講座終了後には必ず、会場の参加者から質問を受けるコーナーが設けられ、毎回、講師と受講生の活発なやりとりが見受けられた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	大学の現役教員が講師を務め、毎回多くの資料が受講生用に準備されていた。受講生は手元の資料とあわせて、講師が示す舞台上の説明画像などもみる事で、より理解や興味が増す工夫がされていた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	受講生の大半を60・70・80代が占めていたが、毎回大変熱心に受講されていた。年齢に関わらず市民が持つ学習意欲・探求心に応え続けていく必要があると思われる。		
総合評価(自動計算)			7			
参加者や協働相手からの意見			参加者> ・詳細なまとまった資料と分かり易い解説で興味深く拝聴させていただいた。(80代男)・大学講座そのものの感じで少し専門的に感じた。(70代)・わかりやすい講義、資料の詳しさ。もっと学びたいとなりました。(60代女) 奈良大学> ・受講人数の確保、増加を目指す(次回受講希望者に案内のDMを郵送。当ホールと分担してちらし配布をするなど)			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	第10回を迎え、近隣の一部の熱心な市民に支持されていた講座だった。共催先の奈良大学教員が専門性を活かしながらも、内容を市民向けに分かりやすくする工夫がされていた。市民にとって、学生でなければ聴くことができない講座を受講できる貴重な機会となっていた。かなり専門的なテーマでも、参加者の大半はいつも熱心で、スタッフ一同頭の下る思いだった。奈良大学は業務全般を、当ホールは奈良大学と市民をつなぐ補助業務を担い、共催で開催していた。			地域の大学との連携事業として、今後も継続していきたくかったが、奈良大学側の事情から休止となった。奈良大学担当者も10年間の積み重ねをなんらかの形で残してゆきたいという思いだった。地域の文化振興を目指し、他の教育機関との連携をさぐる必要がある。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		夏休みこども体操教室 ①幼児クラス②親子クラス		担当課 施設名	(奈良市北部会館市民文化ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(8) - ②	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成21年度	実施回数	2回	
日時	平成27年7月29,30,31日 各日 ①9時15分～10時15分②10時半～11時半			会場	奈良市北部会館市民文化ホール 市民ホール	
目的	地域の子どもたちとその保護者がリズム体操、ストレッチなどで体を動かす楽しさを知り、体力・柔軟性を向上させて、生活のリズムをつくり、健やかに夏休みを過ごすことを目指します。					
内容	講師…山本三歌代さん(日本フィットネス協会公認インストラクター) 定員…①幼児クラス25人(4～6歳) ②親子クラス25組(2,3歳とその保護者) ※①②各保護者同伴で全3日間受講できる子。要申込。					
事業費 (円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	50,000	支出	55,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	98,000	支出	33,611
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				回収19件・回収率38.7%		
指標			評価 (10点満点)	評価内容 (件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	①幼児クラス：27人参加／(定員25人)＝参加率108% ②親子クラス：22組参加／(定員25組)＝参加率88%		
	参加者満足度		9	アンケート結果：大変良かった、良かったの占める割合＝95%		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	講師との協働により、当教室は運動機能向上主義でなく、それよりも親と子、おとなと子ども、子ども同士のつながりや信頼感を深める場となることを目指している。楽しく運動する内容は、講師の指導力によるところが大きい。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	講師は地域での指導経験が豊富で、普段から積極的に受講者やその保護者とのコミュニケーションを図り要望や情報をつかんでいる。当ホールは講師と情報を共有し、検討を重ねながら、より良い内容を目指して取組んでいる。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	近年、幼稚園・保育園・子ども園の編成により、幼児や保護者を取り巻く教育環境が変化してきている。現状を反映したクラス編成を再考する時期にきている。		
総合評価 (自動計算)			9			
参加者や協働相手からの意見			<p>参加者・先生が子どもたちをのせるのが上手なので親子共に楽しめました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生が子どもたちに声をたくさんかけてくださっていたのが良かった。 ・ホールの広さも十分で、内容もそんぶんに楽しめて良かった。 ・同世代のお友だちと楽しく体操できた所が良かったです。 ・助手の先生がいてほしかった。 			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	<p>幼児・親子クラス共に、子どもたちだけでなく、兄弟や保護者もいっしょに遊びや体操を楽しむ事ができ、大変好評を博しました。奈良市、木津川市、精華町の各教育委員会の後援名義使用承認により、近隣の幼稚園、保育園、子育てスポットを中心に早めに広報を行う事が出来た。当ホール主催「高の原文文化講座」の参加へつなげたかったが、こちらにも参加されたのは2組程にとどまった。平日、定期的に参加できない子どもたちが単発開催のため参加できているようだ。</p>			<p>市民の要望に応え、今年度から内容に数か所の変更を加えた。「高の原文文化講座」に小学生対象のクラスを新設したため、当教室も参加対象を未就学児限定から小学3年生まで広げた。また、保護者は見学だけであったが保護者も参加する事とし、3歳～小学3年生の異年齢がいっしょに参加する縦割りにした。さらに、開催時期を夏休みと冬休みに増やす予定。今後も講師と協力して、内容を改善していきたい。</p>		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		平城ニュータウン文化		担当課 施設名	(奈良市北部会館市民文化ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-①、③、(5)-①、(3)-③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成17年度	実施回数	年 1 回	
日時	毎年 1 1 月の3日間			会場	奈良市北部会館市民文化ホール 全室	
目的	地域を中心に活動しているグループと平城ニュータウン文化協会のみなさんとの文化祭で地域ににぎわいをはぐくむ。 地域の文化施設との連携を以って運営し、地域協働を目指す。					
内容	地域の識者による講演と地域の文化活動グループによる展示や活動発表としての文化祭を開催されている。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	47,000	支出	101,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	53,100	支出	52,900
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	今年度は、平日開催であったため540名の参加者であった。		
	参加者満足度		8	文化祭に関わる人たちが文化祭を盛り上げようと努力されていることで来場者の満足を得られていると思われる。1年間かけての各団体の展示や発表を一堂に会して鑑賞できるため、参加者の満足度が高い。当施設としても全力でサポートしている。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	平城ニュータウン文化協会の各メンバーが自主的に、運営委員会を開催しながら、文化祭を開催している。規模が大きく、各参加者の協力のもと地域ににぎわいを生み出した。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	毎年、平城ニュータウン文化協会の役員さんたちが担当別に準備や進行を行い手作り感ある運営をされているので回数を重ねるごとに向上していると思われる。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	平城ニュータウン文化協会さまが地域と密接な関わりを持たれているため子どもから高齢者まで幅広く来館される。		
総合評価（自動計算）			8			
参加者や協働相手からの意見			地域の文化活動グループにとっては、地元で自分たちの催しができることが何より。今後も引き続き、地域の文化活動の拠点として、活用していきたい。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	毎年、賑やかな文化祭となっています。文化活動グループの皆さんが日頃の成果を発表する場となっているため集客も含め努力されていて評判が良い。			長年続けてくるとマンネリ化が多少でてくるかもしれない。今後、新しい催し等も取り入れていくべきかも。また若い世代の参加が思わしくないので、広い世代に参加協力を求めて行き、継続発展を目指したい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		明日へ輝くコンサート		担当課 施設名	(奈良市北部会館市民文化ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-③、(2)-①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成22年	実施回数	年2回	
日時	平成28年1月17日、3月6日			会場	奈良市北部会館市民文化ホール 市民ホール	
目的	プロの演奏家によるクオリティの高いクラシック音楽を提供し地域の芸術文化の振興を図る。					
内容	日常ではあまり体験できないプロのピアニストによるクオリティの高い演奏を楽しんでいただきます。また、「クラシック入門」として分かりやすくクラシックを解説。演奏家自らの楽しい解説で来場者の心を掴みクラシックに親しみを持って頂く。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	300,000	支出	581,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	411,500	支出	511,593
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				回収件数：58件 回収率：26%		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		7	2公演で総来場客が219名。前年度の1回公演と比較して高校生以下の来場が減ったためか、少し減少。		
	参加者満足度		9	素晴らしい演奏と分かりやすい解説や楽しいトークで満足したとのアンケート結果が多かった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		8	出演者のコーディネートを地域の方にお願ひし、演奏会の企画運営を、ホールと共に協働した。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		9	プロのピアノ奏者ということで年中各地でコンサートなど開催されているので質は確保されているものと考ええる。		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	クラシック初心者にも楽しんでもらいたいという内容のコンサートであるが高校生以下や高齢者が全体的に少なかったと思われる。		
総合評価（自動計算）			8			
参加者や協働相手からの意見			・演奏者自身のわかりやすい解説があり、より興味をもって演奏を聴くことが出来た。 ・知っている曲を生演奏で聴くことが出来て良かった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	シリーズ化して欲しいとの要望も数件頂いている。熱心なファンがいらっしゃるのもリピーターに繋がっている。			前年度より入場者数が若干減った原因を検討する必要がある。前回と催し月が、変わったとか、1回公演を2回公演にしたからとか、或いは、催しの内容に問題はないか等を分析して改善するべきところは速やかに改善していく。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		高の原クラシックステージ 菊本和昭トランペットリサイタル		担当課 施設名	(奈良市北部会館市民文化ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)-①、(6)-①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発・継続	事業開始年	平成27年	実施回数	1回	
日時	平成27年11月22日			会場	奈良市北部会館市民文化ホール 市民ホール	
目的	クオリティの高いクラシック音楽を地域の方に鑑賞して頂き、音楽文化の振興と発展につなげる。					
内容	NHK交響楽団首席トランペット奏者によるコンサート。演奏家による解説と共に、クラシック音楽から親しみある曲までを楽しんでいただく。演奏会終了後には、地域の学生を対象とした、トランペットクリニックを開催。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	300,000	支出	671,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	330,000	支出	490,691
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				回収件数36、回収率21.8%		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	参加者数165名、公開クリニック参加者数22名。秋の音楽会シーズンであったため、他のイベントと重なり参加者が若干少なかった。		
	参加者満足度		9	94%以上の方が、満足されていることがアンケートよりわかる。日本を代表するオーケストラの演奏家の演奏を間近にすることが出来たこと。		
	市民参画・協働の成果はあったか		9	終演後の時間で、地域の小学生、高校生のトランペットを学ぶ生徒に向けて公開クリニックを開催。クリニック参加者にとっては、直接プロの演奏家から練習方法や吹き方を教わることができ、今後の目標を持つことが出来たと考えられる。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	日本を代表するトランペット奏者の演奏は、聴く者の心を奪いました。		
	ターゲットは適切に絞れたか		7	どの世代にも聴いていただきたいと考えていたが、よりターゲットを絞っての開催の方が集客につながったようにも感じられた。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			素人にもわかりやすく、楽器の特徴がよく分かった。 大好きなトランペットを間近で聞くことが出来て良かった。演奏者自身による解説もよかった。一流の演奏会を安い料金を聴くことが出来て嬉しかった。 など			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	11月に演奏会を開催したが、奈良県内でも多くの音楽行事が開催されていて、より目を引く集客につながる宣伝広報の大切さを感じた。			他の音楽団体等と協力して、宣伝広報を充実させたい。地域住民にとって身近な文化施設でのクオリティの高い演奏会により、地域ににぎわいをはぐくみたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		高の原文化講座		担当課 施設名	(奈良市北部会館市民文化ホール)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)-①, ③	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成17年	実施回数	毎月1回～3回(講座による)	
日時	通年：月2～3回 火曜日～金曜日			会場	奈良市北部会館市民文化ホール	
目的	周辺住民文化活動の助長・健康増進・文化芸術の普及のための事業として開催。					
内容	健康増進などを目的としたヨガ、フラダンス、エアロビクスや文化芸術を深めるなどを目的としたコーラス、水彩画等を含む全30事業。					
事業費(円)						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	19,260,000	支出	11,600,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)		その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	21,581,500	支出	11,028,695
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容(件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入)		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	近隣住民から老若男女幅広く受講していただいている。		
	参加者満足度		8	受講生の大半が継続参加されていることから、満足度が高いと考えられる。		
	市民参画・協働の成果はあったか		8	多くの講師が、奈良市在住で地域の素材を生かした講座となっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		8	指導資格者の指導のもと安全面に気を遣い、健康や技術の向上に努力され質の確保はなされていると考える。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	受講者は自身のニーズに合った講座を受講していただいている。		
総合評価(自動計算)			8			
参加者や協働相手からの意見			・年間を通じての講座で、仲間や知り合いが増えて参加すること自体に楽しみがある。 ・自分のペースで取り組めるので、過度な負担なく参加できることがうれしい。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	講座の継続者が多い。各講座に年間を通じて参加することにより、参加者自身がそれぞれのペースに応じた成果を感じておられる。			継続実施することにより、さらに地域のにぎわいをはぐくみたい。		